

## ◆【全国発信記事】北陸支部

### 三国で殉職船員の慰霊祭

#### 御霊に哀悼の誠を捧げる

9月25日、三国港の船員慰霊碑（福井県坂井市三国町）前広場において、殉職した三国底曳網乗組員の殉職追悼法要が執り行われた。

追悼法要は、毎年、秋彼岸の第4土曜日に開催していて、昨年は法要途中からあいにく雨に打たれたが、今年は天候にも恵まれ秋涼の中での開催となった。しかしながら、遺族も高齢化し、また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより、参列者については昨年同様、感染リスクを避けるべく関係者や遺族の方々には参列を自粛していただき、支部および船員会役員のみでの小規模にて執り行なった。

底曳網船で尊い命を亡くした船員の御霊に、地元「永正寺」住職による哀悼の誠を捧げ経が唱えられ、参列者は故人の生前に思いを馳せ、今後悲しい犠牲者が出ないように焼香、祈願した。

最後に、追悼の言葉とし、組合を代表し熊谷勝明北陸支部長が「この尊い犠牲を教訓に、今後再びこのような悲しみを繰り返すことのないよう決意を新たに、関係各社との協力のもと、航海の安全、海難事故撲滅になお一層の努力を傾注していく」と述べた。

#### 船員殉職之碑

碑は昭和48年6月に建立されたもの。碑文石には、

「昭和三十五年三国港船員組合創立以来十三年を迎えました 過去の年月に尊い船員の生命を失うという大きな犠牲を払いました 我々組合員はこれらの多くの船員の労苦を偲び今ここにその霊を慰める為に船員殉職之碑を建立いたしました 見渡す限りの大海原変わる事のないこの大自然を前にしてこの碑が永遠の平和の光となりますよう深い祈りを捧げます」

と記されている。